

公益社団法人 八街市シルバー人材センター

シルバーやちまた

第53号

2023年(令和5年)3月31日発行

編集・発行 八街市シルバー人材センター広報部会

〒289-1115 千葉県八街市八街ほ560番地5

TEL(043)442-3531/FAX(043)442-3533

会員数	
男	169人
女	117人
合計	286人
(令和5年3月1日現在)	



八街市産業まつり
令和四年十一月二十七日(日)

八街市産業まつりが、九時より十五時まで八街中学校校庭にて、三年ぶりに開催されました。

当シルバー人材センターもブースを設営し、表・裏門とブース前の三カ所で入場者に当センターの令和五年度カレンダー兼会員募集チラシを手渡しにて配布し新規会員募集活動を行いました。



ブースでは会員の呼びかけに足を止め立ち寄り、就業内容等の説明を聞いて関心を持って下さる方が多数おられました。



- 主な掲載内容**
- 2頁 新年度を迎えて
会長・市長の挨拶
 - 3頁 ボランティア活動
 - 4頁 各講習会・女性部会便り
安全・適正就業委員会
 - 5頁 安全パトロール
 - 6頁・7頁 会員のページ
 - 8頁 お知らせコーナー

令和五年新年度を迎えて

「新たな活動の年に」



会長
阿部 守作

当シルバー人材センターの会員の皆様には、日頃から事業運営にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、引続く新型コロナウイルス感染に世界情勢の不安定が加わり、日常生活は制約のある日々がいまだに続いております。当センターも例外ではなく、会員数や契約金額の減少など運営に大きな影響を受けています。そのような中、令和4年度は定時総会、安全講習会、健康講習会等人数制限など工夫を重ねて実施することができました。そして、二年ぶりに「産業まつり」にも参加し、センターの存在をPRしました。会員数の拡大は、社会的地位の確立と安定的な事業運営の観点からも車の両輪のように就業拡大と

合わせて重要なミッションと考えます。本年度は各種催事を昨年より一歩ずつではありますが会員同士のコミュニケーションを含め開催に向けて努力し、まずは早期に会員数をコロナ禍前に回復させた上で、さらなる組織発展を目指す所存です。

安全適正就業については、一般作業を主とする当センターとしては日頃、会員に安全意識徹底を「安全就業ニュース」等でPRしていきます。仕事においては、「無理せず・焦らず・油断せず」仲間と連携を合言葉に無事故を目指しましょう。安全就業は「心と健康」が基本です。加えて、就業場所途上の交通事故には細心の注意をお願い致します。

また、シルバー事業をめぐる大きな課題として、世の中「デジタル社会」の到来に踏まえた事業展開が挙げられます。主な利点としては、機器を活用した業務連絡など事務効率が高げられ、この為会員のリテラシー（文章読み書き）の向上のための取り組みが求められてきます。

さらに、本年度は平成二十五年に策定した「第一次中・長期計画」

の評価年度です。評価を行い実施計画で実践できなかった計画については、「第二次中期計画」に社会経済状況等を検証して新たに策定いたします。

コロナ感染という鬼はしぶとく、いまだに去らない。早く退散を願いたい。今年も、うさぎ年「うさぎの登坂」のことわざがあるように巧みに坂を上ることから得意とする場所で力を振るいましょう「一緒懸命」の合言葉で。

そして、「君子の交わりは淡き水のごとし」過去の勤め先や経歴の關係ない水のようにさりりとした人間關係こそが長く続く秘訣であるように思います。

結びに会員、ご家族のご健勝とご多幸を心からお祈り致します。

「いあごんじ」



八街市長
北村 新司

公益社団法人八街市シルバー人材

センターの会員の皆さまにおかれましては、日頃より、市政の推進にあり格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与され、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいておりますこと、深く敬意を表します。

さて、昨年の敬老の日（令和4年9月15日現在）を基準日として政府が発表した日本の総人口は、前年に比べ82万人減少している一方で、65歳以上の高齢者人口は、3,627万人と、前年に比べ6万人増加し、過去最多となっております。また、総人口に占める高齢者の割合は29.1%と、前年（28.8%）に比べ0.3ポイント上昇し過去最高を更新しており、高齢化は、世界で類を見ないスピードで進行しております。

本市におきましても高齢化の急速な進展に伴い、年金や医療、福祉などの社会保障給付費が増大しており、社会福祉制度を維持していくことが難しい状況になると予想されております。また新型コロナウイルス感

染拡大の影響で、3密の回避や不要不急の外出の自粛などが増えた結果、人と人とのつながりが希薄化し高齢者の認知症やうつなどの問題が増えております。

人生100年時代と言われる今日において、日本の平均寿命は延伸を続けており、65歳を超えても元気に就労や社会参加活動を通じて現役として活躍している高齢者の方がたいへん多くなってきております。

このような中で、活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組織として、貴センターの担う役割は大きく、今後も高齢者への就労機会の提供や健康維持、社会参加などに寄与されるとともに、高齢者の生きがい、居場所づくりにも貢献していただきますことを大いに期待するところでございます。

結びに、八街市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員皆さまのご健勝と更なるご活躍を心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

ボランティア活動

中央公民館清掃 10月8日(土)
ボランティア活動として、除草及び植木手入れ清掃作業を行いました。ここ3年間新型コロナウイルス感染症対策でこの作業は中止していましたが、今回のボランティア作業に有志の会員さんを集まって頂き、表玄関周りの植栽を中心に剪定手入れ・除草作業が行われました



中央公民館を清掃作業中の会員方々 (2022年10月8日)



阿部会長の挨拶

当センター・ワークプラザでのボランティア清掃

恒例行事のワークプラザの年末大掃除ですが、今年は、主に使用している作業班等で行うこととなりました。会議室清掃は、12月24日(土)に使用のパソコン教室グループが行いました。



各種講習会

交通安全講習会

令和4年11月24日、佐倉警察署交通課課長上正倫警部補を講師に招き、ワークプラザ会議室にて、「高齢者の安全な自転車の乗り方」等について講義を行い、その後、場所を中央公民館駐車場へ移動し、実技を実施しました。(市役所防災課協力)

道路交通法が改正されて自転車は車と同じに左側走行で、信号も車両用信号機が赤信号時必ず停止と横断歩道では、歩行者優先に停止、また、夜間反射材の取付けが義務化されており、まだ付けてない方は早急に取付け、自身の安全を守りましょう。



ワークプラザでの講義



中央公民館に移動しての実技

救命救急講習会

令和5年2月に救命講習会の開催を予定しておりましたが、佐倉消防署より、本年度もコロナ禍で当ワークプラザでの開催は困難、佐倉消防署本部での開催で人数十名以内のことで、講習会は中止致しました。

来年度は、開催できることを期待いたします。

安全・適正就業委員会開催

協議議題

昨年、一昨年共に、蜂刺されによる事故と刈払機使用による飛石の賠償事故が発生しており、このことについて安全・適正就業委員会で協議を行い、3月開催の理事会に於いて承認されたことにより、安全適正就業基準の一部を改正しました。

第4条 会員は、植木剪定・塗装・除草等の作業に従事する場合は別途定める作業別安全・適正就業基準を守り、安全・適正就業に努めなければならない。別途定める作業別安全・適正就業基準の作業ポイントの中の(5)ポイント「作業現場に着いたら周囲の状況を確認する事。」補足事項

(一)作業前に蜂の巣や害虫等の有無を点検し必要により殺虫剤等で処理するか、危険と判断される場合作業を行わないこと。

(二)蜂の巣の有無を調べる場合は、草むらやヤブなどを叩くなど、蜂を刺激するような行動はしない事。

第9条 会員は、器具類を使用する場合は、正しい取り扱い方法により作業する事。安全作業ポイントの(4)ポイント「作業前に周囲の障害物を周知・除去しておく事。」補足事項

(一)住宅・道路・駐車車両等が近接する場合は小石の飛散による損害事故防止のため、飛散防止用防護ネットの設置等必要措置を講ずること。

(二)飛散防止用防護ネットを使用する際は専門に補助員を配置し、作業の進行に合わせて移動させながら作業すること。

協議議題

「安全適正標語」の選定について

応募件数は76点あり、厳選した10点は8ページに掲載しています。

女性部会便り

令和4年11月16日(水)

八街駅南口プランターと北口花壇の花の植替え時期で、見事に咲いたヒマワリ、日々草、千日紅、コスモス、花オクラ等をすべて撤去し、次に植え付ける花用の肥料入れを行いました。



令和4年11月24日(木)

八街駅の花植え付け、市内の某花園より、差入れられたパンジーを南口プランターへ、三年目となる球根チュウリップを北口花壇に植え付けました。今春が楽しみです。

令和5年1月30日(月)

令和4年度女性役員等意見交換会が千葉県教育会館で開催され、女性理事2名が出席致しました。

安全就業パトロール

令和四年十月十八日（火）

榎戸駅自由通路清掃作業

凍結等による転倒事故に注意喚起を行う。



八街市市役所庁舎の清掃作

手摺消毒の際に転倒した事故事案があり、再度注意喚起を行う。



令和四年十二月十六日（金）

市内公園清掃作業

蜂対策の書面を配布し、のぼり旗を一枚交換する。



クリーンセンター破砕処理業務

空き缶・空き瓶等の仕分け作業時、地面の鉄板等の段差で転倒しないよう注意喚起を行う。



令和五年二月十三日（月）

八街駅自由通路の清掃業務

凍結による転倒事故に注意喚起を行う。



民間企業の保安用品管理業務

保安用品管理・点検・清掃時安全就業について注意とお願いをする。



令和四年九月以降の事故記録

◎一件目 令和4年9月16日（金）
施設内除草作業中、草刈り機の飛び石で駐車中のガラス粉砕（賠償事故）。事前に車両移動を連絡調整し、周辺に駐車車両のゼロ確認と、防護ネット移動要員の配置をする。

◎二件目 令和4年12月17日（土）
食品加工業で終業時清掃中に足を滑らせ転倒。水撒き清掃時は滑りにくい長靴等を着用し足元に注意し転倒予防に務めること。

◎三件目 令和4年12月18日（日）
清掃業務を終了し自転車車で帰宅時に自転車と接触。自転車走行時は脇道からの安全確認も行うこと。

◎四件目 令和5年1月20日（金）
夜間施設管理業務を終了後自動車で帰宅途中交差点にて車両と衝突。青信号に変わり、前の車両が発進直後に対向車両の確認を怠ったことが事故原因。必ず一旦停止、安全確認をお願いする。

自動車に関連する事故が増えていきます。運動神経も若い時と違い鈍くなっておりますので、くれぐれも安全確認をお願い致します。

会員のページ

趣味

「我が人生の五七五」

川柳句集(1)

「過ぎ行く日々」より

伊藤 三男

(筆名・伊藤 三峨)

俳句の「自然諷詠」に対し、川柳は「人間諷詠」です。

掲載の川柳作品は私が四十五歳の時に刊行した第一句集から抜粋したものです。従って私にとっては川柳の原点のようなものです。

若い時と現在では、当然の如く作風も内容も変わってきませんが、皆さんもご自分の若き日を思い返しながらお読み頂ければ幸いです。

・雪が降り

わがふるさとを子に語る

・子の夢の

世界に父もむかし住み

・パ・ママに
児が目覚しのような日々

・ふるさととは

遠くにありて墓を買う

・新婚の描く未来図にない余白

・ゆるめすぎ

締めすぎ迷う子手綱

・添い寝して

そのまま朝になる疲れ

・子を叱る

父もエレキに凝った日々

・子に苦勞

させないためにする苦勞

・夢ばかり

見ていて今日の米がない

・頼られて

いるから湧いてくる力

・けんかした

朝は職場に早く着き

・猫一匹

我が家の暮らしぶりを変え

・「ただいま」の

声が伝える満足度

・歯車の中の小さな自己主張

・疲れたの二分の一は飲み疲れ

・女房の偉さを思う子の育ち

・金言を並べて並みの道を行く



(以下の作品は6年前のフォト川柳です。)

高齢者を狙う特殊詐欺電話・詐欺メールに注意

「オレ、オレ詐欺電話」、「医療費が戻る」などと偽る「還付金詐欺電話」
「警察や銀行員を偽る、アポ電話の個人情報収集」は増加中です。
警視庁アンケートで、昨年度の犯罪情勢統計と治安に関する結果

ここ10年で治安はよくなったか

よくなった 2.4% どちらかと言えばよくなった 12.5%

どちらかと言えば悪くなった 43.9% 悪くなった 23.2% 「悪化計 67.1%」 分からない 17.9%



千葉県警本部から、電話の「オレオレ詐欺」など「特殊詐欺」は、9割近く家庭の固定電話にかかっている。

「犯人と直接話をしないことが最も効果的な対策」固定電話機を留守番電話付に取替をお願いします。

会員のページ

シルバー人材センターの

会員になって

藤本 一郎

八街にシルバー人材センターがあることを知ったのは、六十五歳を過ぎた頃でした。市の広報を見て、一度リタイヤしても健康であれば何かできるのでは、と思って入会しました。世の中は高齢化が進み老人ばかりが目立つようになり、働くことが出来るのに何をしてもよいか分からないでいる人が大勢いると思います。そんな時、シルバーの会員登録をしておけば自分に合った仕事の紹介がセンターからあります。自分でも無理なく仕事が出来れば、世の中の何かに役に立つのではないのか。近頃は年金だけで生活ができる人は少なく、ギリギリの生活をしている人が多いのではないのでしょうか。お金のために働くという考え方はちよつと寂しい気持ちになります。結果的には世のため、人のためになると思います。少しでも社会と繋がっていることが、ボケ防止にも良いので

はないかと思えます。

シルバーは一人で働く訳ではありません。一緒にいる仲間は人生経験も豊かであり、キャリアを持つています。自分たちも苦勞をしただけ、相手の気持ちに分かるというものです。心に余裕を持って親切に出来るということも大切です。

これからは、シルバーの活躍が多く求められる時代になって行くと思えます。高齢化が進む中でシルバーの会員ひとり一人が健康で笑って仕事出来る職場を目指し、人に喜んでもらえるようにし、感謝の気持ちを忘れないよう努力していくことが大事だと思います。

私も皆のおかげで、昨年の四月から現在の仕事を続けております。今後ともご指導よろしく願っています。



受章おめでとうございます。

令和四年十一月秋の叙勲瑞宝単光章（危険業務従事者叙勲）を、当センター会員の菊池 朝男氏が受賞されました



おめでとうございます。これからもお元気で活躍ください。

原稿募集中

- 旅行の思い出
 - 詩・俳句・川柳
 - 短歌
 - 健康の秘訣
 - 郷土料理の紹介
 - 名物料理
 - 私の趣味
- などなど...
広報部まで

パソコン・スマホ教室開催中

パソコンを始めてみたい方。
スマホを使いたい方。
文書作成、表計算を習いたい
ネットを使いたい
写真、動画や音楽を取り込みみたい
パソコンの不具合でお困りの方、
メンテナンスも行っています。
無料体験学習も行っています。

場所 シルバー人材センター

ワークプラザ二階

毎週火曜日 午前10時～12時
毎週土曜日 午後1時～3時

パソコン指導者募集中



シルバー会員の方でパソコンの経験者、今までの経験を生かし指導出来る方お待ちしております。

お知らせコーナー

優秀賞は令和5年度から令和8年度まで当センターの「安全就業標語」として使用していきます。

最優秀賞

一步先 見据える心に

事故はなし

海老澤 茂 会員

優秀賞

安全基準 守ってつなぐ

事故防止

佐藤 信雄 会員

優秀賞

声掛けは 危険な行動

抑え込む

後藤 和栄 会員

それ危険！その場で伝える 大声で

維持しよう！あせらず・無理せず・油

断せず！で身の安全

慣れている 仕事に潜む 落とし穴

お互いに 声かけ合って 事故はゼロ

気の緩み 思い込みも 事故のもと

事故招く 仕事の慣れと 気の緩み

安全は 初心忘れず 手順を厳守

シルバー人材センター
会員募集中

シルバー人材センターは、会員の生きがい発見の場、高齢者にふさわしい仕事を会員に提供する公益法人です。自分らしく働きたい高齢者の自主的な会員組織です。

会員になって働くメリットは？

自分に合った働き方は健康・増進につながる
働くことが生きがい、社会参加を
実感できる
仕事の報酬で、暮らしに少しゆとりができる
仕事をする和生活にリズムが戻ってくる
仕事をとおして、新しい仲間づくりができる

「働く私は元気でかついい！」

会員の仕事は「臨・短・軽」

高齢者にふさわしい、臨時的・短期間で週20時間を超えない軽易な仕事です。会員が長く元気に働くため、公平に仕事が行き渡る為に会員は、

ひとつの仕事を分かち合います

60歳以上の健康で、シルバー人材センターで就業する意欲ある人なら、どなたでも会員になれます。

配分金支払日

4月分	5月31日(水)
5月分	6月30日(金)
6月分	7月31日(月)
7月分	8月31日(木)
8月分	9月29日(金)
9月分	10月31日(火)

刃物研ぎます！

月2回【毎月第1・第3 水曜日】
午後2時～午後4時
申込は事務室までお越し下さい。
料金 包丁・・・340円
鎌・・・390円
刈込鋏・・・550円
刃こぼれ・・・倍額

入会説明会開催中
第1・第3月曜日

(祝日の場合は翌日)

シルバー人材センター
ワークショップ2階会議室

ボランティアで剪定

会員の方が手入れ行ってくれたことにより、センター敷地内の植栽が美しい姿になっております。



あとがき

広報部会から会員の皆様にアンケートをお送りしております、是非ともご協力をお願い致します。

皆様のお声を、今後の広報活動に活用させて頂きます。

季節も変わり外出する機会も増え、人との接触機会も増加します。新型コロナ感染症対策を再度徹底して心身ともに健康維持をしての行動をお願いします。

広報部会 上條